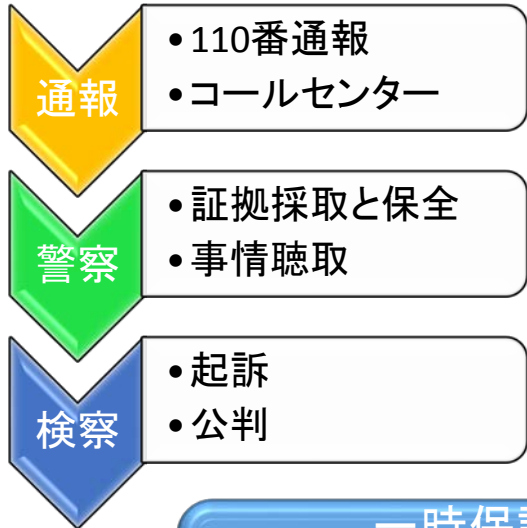


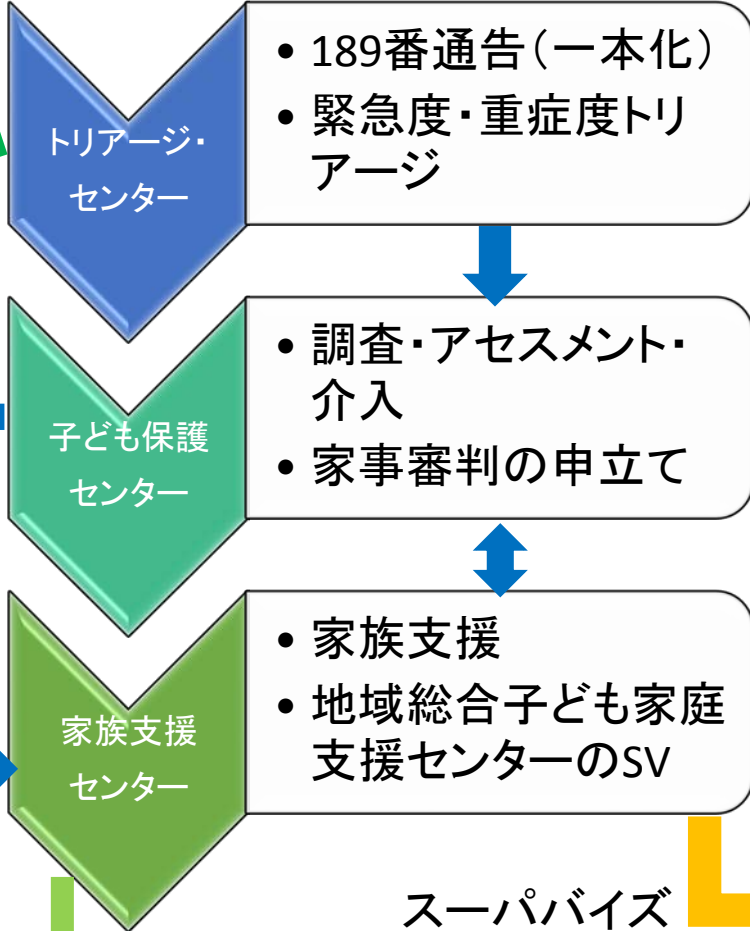
第1回社会保障審議会児童部会  
新たな子ども家庭福祉のあり方に関する専門委員会

山田委員提出資料

# 捜査機関

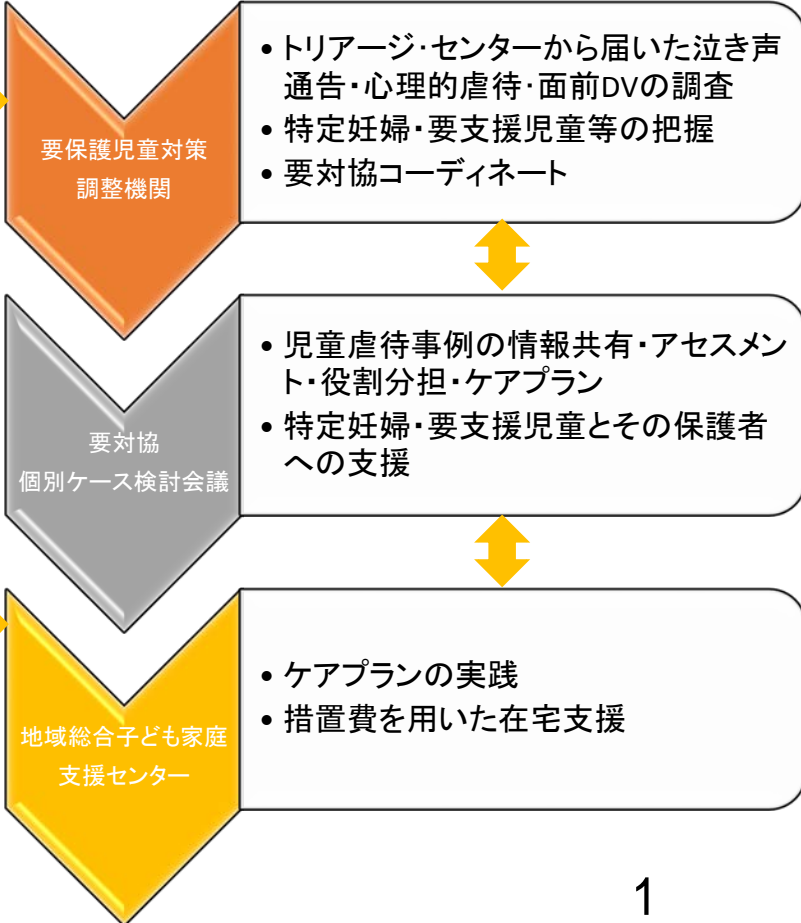


# 都道府県・政令市



第三者機関  
『子どもの権利擁護  
評価センター』

# 市区町村



一時保護所  
『子どもアセスメント・センター』

社会的養護

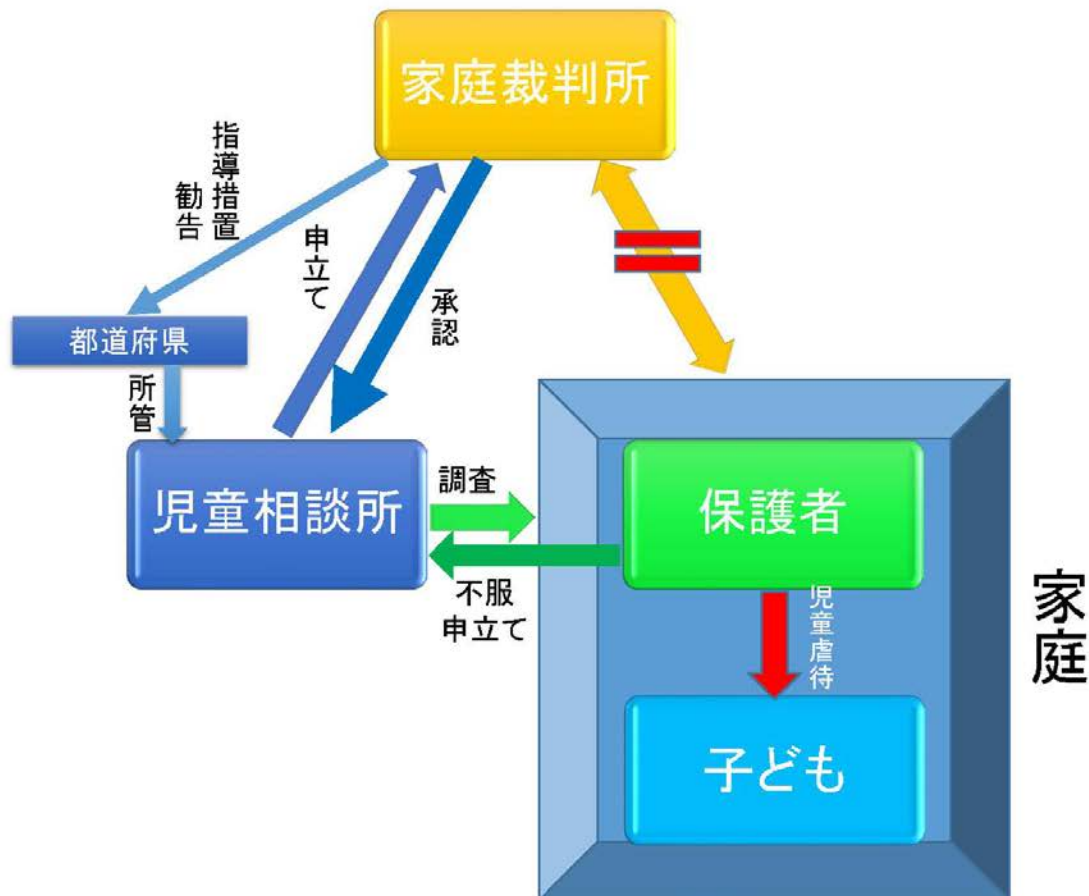
特別養子縁組

スーパバイズ

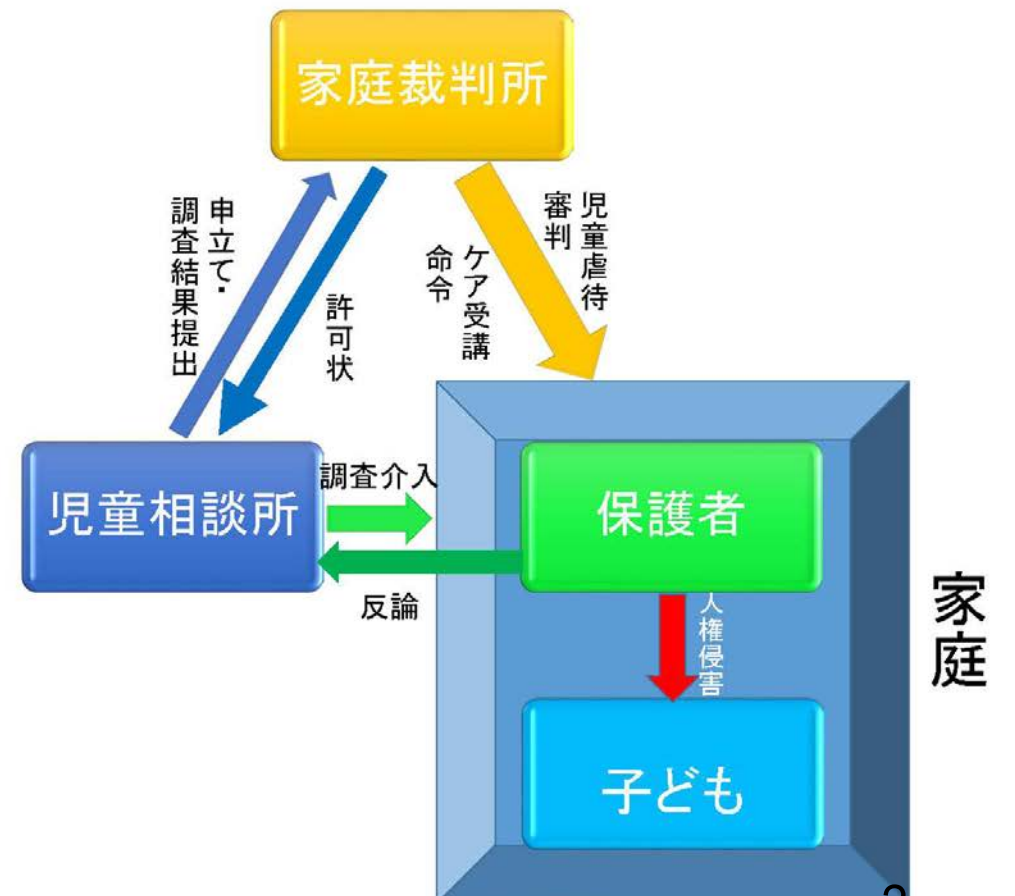
# 再構築図

# 家庭裁判所の関与：建付け再構築

## 従来の建付け



## 新しい建付け 山田案



子どもの将来に関心

児童相談所：  
子どもの福祉

医療機関：子ども  
の健康回復

子どもが受けた被害事実  
(司法面接・系統的全身診察)

警察：事件  
化・送検

検察：起訴・  
犯罪立証

子どもの過去に起こった犯罪に関心

- \* 虐待被害の記憶を想起して陳述するとき、被害児は虐待を再体験することになり、心理的負担が大きい。
- \* 児相・警察・検察がバラバラに対応すると、被害児の心理的負担を大幅に増大させる。
- \* 被害児の心理的負担を軽減するため、**児相・警察・検察が共通して必要とする被害事実に関する部分の聞き取りだけは、児相・警察・検察の代わりに、専門の司法面接者が行う。**
- \* **被害事実以外は、それぞれの機関がその職権に従って、被害児から情報を聞き取る。**